

博多
旧市街

アート、
見つけよう！

まるごと
ミュージアム

2018

10.31 wed - 11.4 sun

※冷泉公園会場のみ11月1日(木)~11月3日(土)

出来町公園 / 龍宮寺 / 「博多町家」ふるさと館 / 冷泉公園 / 川端通商店街 /
Dekimachi Park Ryuguji Temple Hakatamachiya Folk Museum Reisen Park Kawabata Shopping Arcade

福岡アジア美術館 / 博多座 など
Fukuoka Asian Art Museum Hakataza Theater

入場料 / 無料

※龍宮寺のみ17:30以降は博多旧市街ライトアップウォークチケットが必要(別売り)

開場時間 / 各会場、作家によって異なります ※裏面をごらんください

Admission fee / free

※Entering Ryuguji Temple after 17:30 requires Hakata Old Town Light Up Walk ticket (sold separately)

Opening hours / depending on the venue

※Please see the back

主 催 まるごとミュージアム実行委員会[福岡市、(公財)福岡市文化芸術振興財団]

博多旧市街まるごとミュージアム



a. 牛嶋均《U.m.a.》2004年 Ushijima Hitoshi. b. ストーリーボックス《原子は生きている?》2017年 STORYBOX. c. 鈴木康広《空気の人》2017年 Suzuki Yasuhiro. d. ヴー・キム・トゥー《Shaping the Empty Space》2016年 Vu Kim Thu. e. とよだまりさ《夏のはじまり》2018年 Toyoda Marisa. f. モー・ジアチン / 莫佳青《魔法の薬》2018年 Mo Jiaqing. g. チュンリン・ジョリーン・モク《店を見る》2015年 Chung Ling Jolene Mok



歴史を感じる舞台上でアート作品を展示する屋外型アートイベント「まるごとミュージアム」。その第2弾として、今回は博多旧市街エリアを舞台に開催します。中世最大の貿易港湾都市・博多の中心として栄え、今も中世に由来する歴史・伝統・文化が数多く伝わるこの地域に、屋外ならではの巨大な作品や、作家が福岡に滞在し制作した作品など、国内外の7名・組の作家による多彩なアート作品を展開します。「古い」と「新しい」が混在した今までにない発見を、秋の博多で体験してみませんか？

Art in (Marugoto) series features the art in the public places with historic significance. The second in the series takes place in Hakata Old Town, which flourished as the trading-center of largest port town in the Middle Ages. In the area full of history, tradition, and culture from the Middle Ages, seven artists and groups explore various types of artwork including gigantic artworks unique to the open-air public space and the residence-based works reflecting local characteristics. Let's discover the exciting mixture of new and old in Hakata in this fall.

[出品作家 Artist]

牛嶋 均 Ushijima Hitoshi

MAP-① | 出来町公園 (博多区博多駅前1-10) (Open 10:00~21:00)

1963年生まれ、久留米在住の美術作家。舞踏家・田中浜との出会いから、身体パフォーマンスとしても活動。遊具としても遊べる造形作品で知られていますが、今回は山型の構造物に特殊な照明(制作:市川平)を組み合わせた新作を発表します。

ストーリーボックス STORYBOX

MAP-① | 出来町公園 (博多区博多駅前1-10) (Open 17:30~21:00)

2010年に設立されたマルチメディア・スタジオ。ニュージーランドを拠点に、「物語」を多彩な手法で紡ぎだす作品を発表してきました。福岡では海上運送用コンテナを用いた大掛かりな映像インスタレーションを展示します。

ヴー・キム・トゥー Vu Kim Thu

MAP-② | 龍宮寺 (博多区冷泉町4-21) (Open 10:00~21:00)

MAP-③ | 「博多町家」ふるさと館 (博多区冷泉町6-10) (Open 10:00~21:00)

1976年生まれ、ベトナム・ハノイ在住の美術作家。福岡アジア美術館のレジデンス事業で9月より2か月間福岡に滞在。福岡の街をテーマに、紙で作ったランタンによる光のインスタレーション作品を、三宝大荒神堂内に設置します。(平成30年度文化庁アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業)

とよだまりさ Toyoda Marisa

MAP-② | 龍宮寺 (博多区冷泉町4-21) (Open 10:00~21:00)

福岡市文化芸術振興財団機関紙「wa」78号の表紙を飾った北九州在住の画家・とよださんが、龍宮寺に伝わる「人魚伝説」にちなんだ新作を展示します。僧侶でもある彼女が描く色彩豊かでユニークな作品とお寺との親和性もお楽しみください。

鈴木康広 Suzuki Yasuhiro

MAP-④ | 冷泉公園 (博多区上川端町7) (Open 11月1日 12:00~18:00、11月2・3日 12:00~21:00)

1979年生まれ、東京在住の美術作家。日常の見慣れた事がらを、遊び心にあふれた独自の「見立て」によって作品化し、注目を集めています。今回は冷泉公園の芝生の上に、全長18mの大きな《空気の人》が出現します。※雨天の場合、別会場で開催予定

モー・ジアチン / 莫佳青 Mo Jiaqing

MAP-⑤ | 福岡アジア美術館 (博多区下川端町3-17F) (Open 10:00~21:00)

MAP-⑥ | 博多座グランドビジョン (博多区下川端町2-1) (Open 10:00~21:00)

1993年生まれ、中国・杭州在住の映像作家。福岡アジア美術館のレジデンス事業で本年5~7月に福岡に滞在し、福岡の人々とともに、近未来的な台所をイメージした映像作品を制作。カラフルな撮影セットとあわせて展示します。(平成30年度文化庁アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業)

チュンリン・ジョリーン・モク Chung Ling Jolene Mok

MAP-⑦ | 川端通商店街 (Open 10:00~21:00)

1984年生まれ、香港在住の映像作家。2015年福岡に3か月間滞在し、川端通商店街の16店舗の日常を暖かな視点で構成した映像作品を制作。今回初めて作品の舞台である川端通商店街の中に展示します。

[お問い合わせ Contact]

まるごとミュージアム実行委員会事務局
Production Committee's Office
TEL:092-711-4969
WEB: <http://www.ffac.or.jp/marugoto/>



[福岡市文化プログラム]とは？

2020年の東京五輪、2021年の世界水泳選手権福岡大会等を見据え、市内の様々な主体を巻き込みながら多彩な文化事業を展開することで、文化芸術による豊かで潤いのある市民生活の実現と福岡市のプレゼンス向上を目指します。

